

嶺南社保協ニュース

発行：嶺南地域社会保障推進協議会 敦賀市和久野 14-22-1 (0770) 21-7020

No.2 2021.9

社保協で食料支援「おすそ分け市」を開催



コロナ禍が長引く中、嶺南社保協として困っている方への食料支援をしようと、9月12日、神楽商店街にて「おすそ分け市」を開催しました。

初めての取り組みでしたが、社保協所属の各団体はじめ、SNSを通じた繋がりなどで多くの方に食料品、日用品、寄付金などご協力をいただきました。この場をお借り



して、お礼を申し上げます。

当日は、チラシやポスターを見た、知人から教えてもらったなど、市内の各地から大勢の方が来られ、お米や缶詰、レトルト食品、お菓子、トイレットペーパーなど入ったおすそ分けの袋をお渡ししたところ、みなさんからとてもよろこばれました。



また、同時開催した「何でも相談会」にも、暮らしの相談、労働相談などが寄せられました。



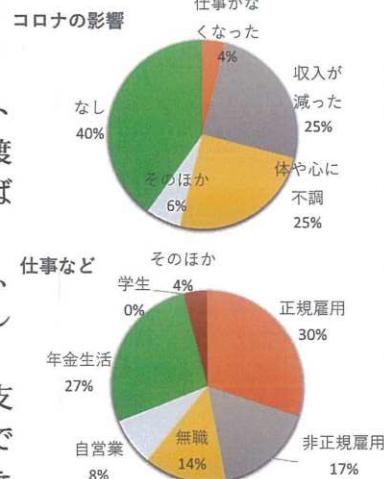
ご協力いただいたアンケートから食料支援が求められている実態をつかむことができ、今後も引き続き開催することといたしました。次回は12月12日に開催予定です。ぜひ、今後とも、ご協力いただきますようお願ひいたします。



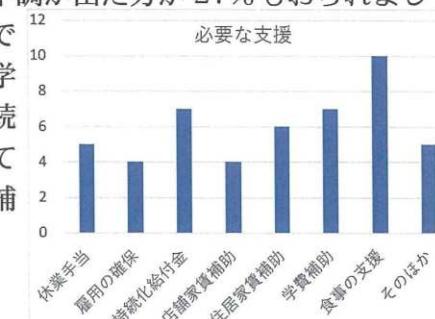
アンケートから見えたコロナ禍の市民の暮らし

《全体の集計》全体では、正規雇用が30%、非正規雇用が17%です。コロナ禍の影響で仕事がなくなった方は4%、収入が減った方は25%で、約3割の方が収入面で影響を受けておられました。また、必要な支援として、一番多いのが食事の支援でした。

《高齢者》65才以上では、ひとり暮らしが58%で、年金の方が72%ですが、17%の方が働いておられ26%の方が収入面でコロナ禍の影響を受けておられました。必要な支援として食事の支援が一番多く、年金が少ないため暮らし大変との声も寄せられました。



《現役世代》50代までの方は、正規雇用が48%、非正規雇用21%、無職21%、自営業者10%でした。収入面で30%の方がコロナ禍の影響を受けておられ、体や心に不調が出た方が27%もおられました。必要な支援で一番多いのが、学費補助、次に持続化給付金、そして食事支援、家賃補助でした。



困りごと無料相談会

とき 每月第2木曜日 10:00~12:00
ところ 医療生協組合員ルーム「晴ればれ」
(つるが生協診療所横)

